

令和7年度岬町新総合計画後期基本計画策定のためのアンケート調査報告書（概要版）

I 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、「岬町総合計画後期基本計画」策定にあたっての基礎資料とするため、町民を対象にアンケート調査を行い、岬町の現状や将来のまちづくりに対する意識やニーズを把握することを目的とする。

(2) 調査の設計

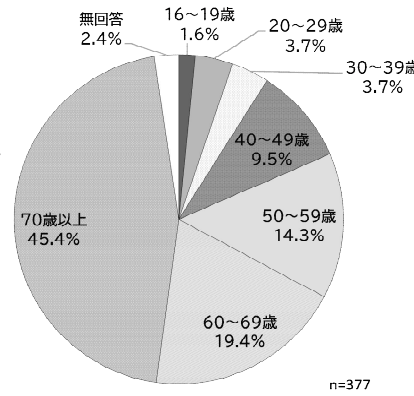
調査対象地域	岬町全域
調査対象	岬町在住の16歳以上の住民1,200人
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	郵送調査方式（郵送にて対象者に調査票を配布し、郵送にて回収）
調査時期	令和7年5月30日（金）～ 令和7年6月27日（金）

(3) 回収結果

配布数	1,200件
回収数	377件
回収率	31.4%

参考：令和元年度実施時：配布1,004件、回収353件、回収率35.1%

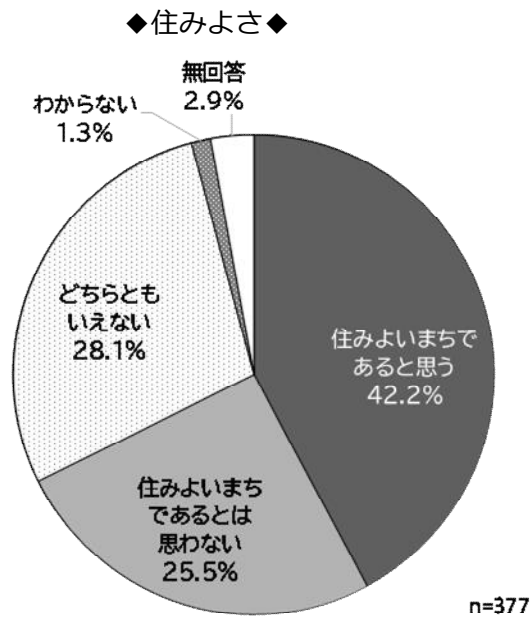
回答者年齢は、「70歳以上」（45.4%）が最も多く、次いで「60～69歳」（19.4%）、が続いている。



II 岬町の印象

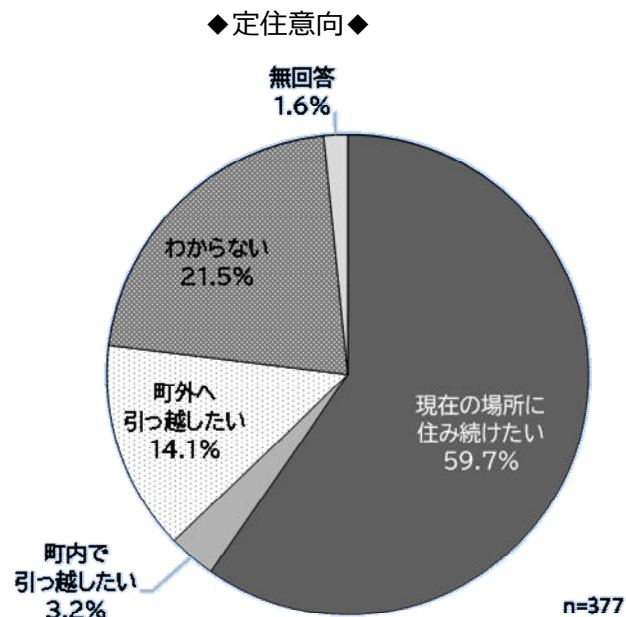
(1) 住みよさについて

「住みよいまちであると思う」が42.2%で最も多い。



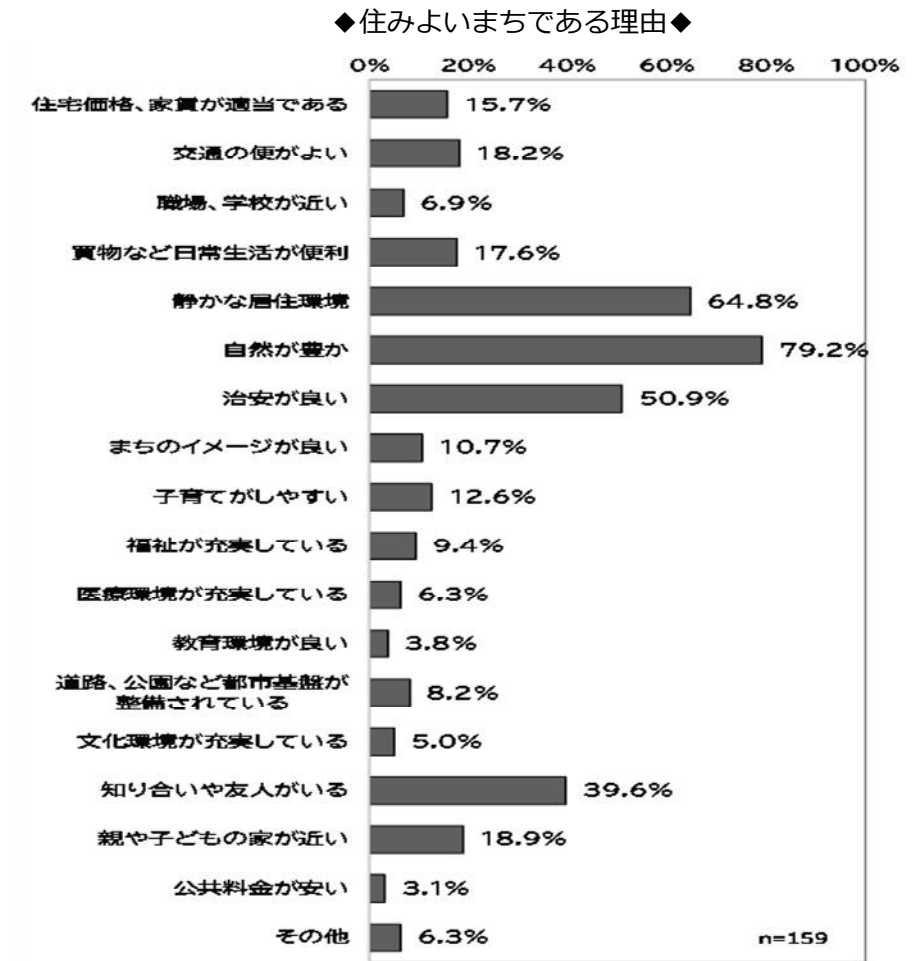
(2) 定住意向について

「現在の場所に住み続けたい」が59.7%で最も多い。「町内で引っ越したい」を合わせた62.9%が町内での定住を考えている。



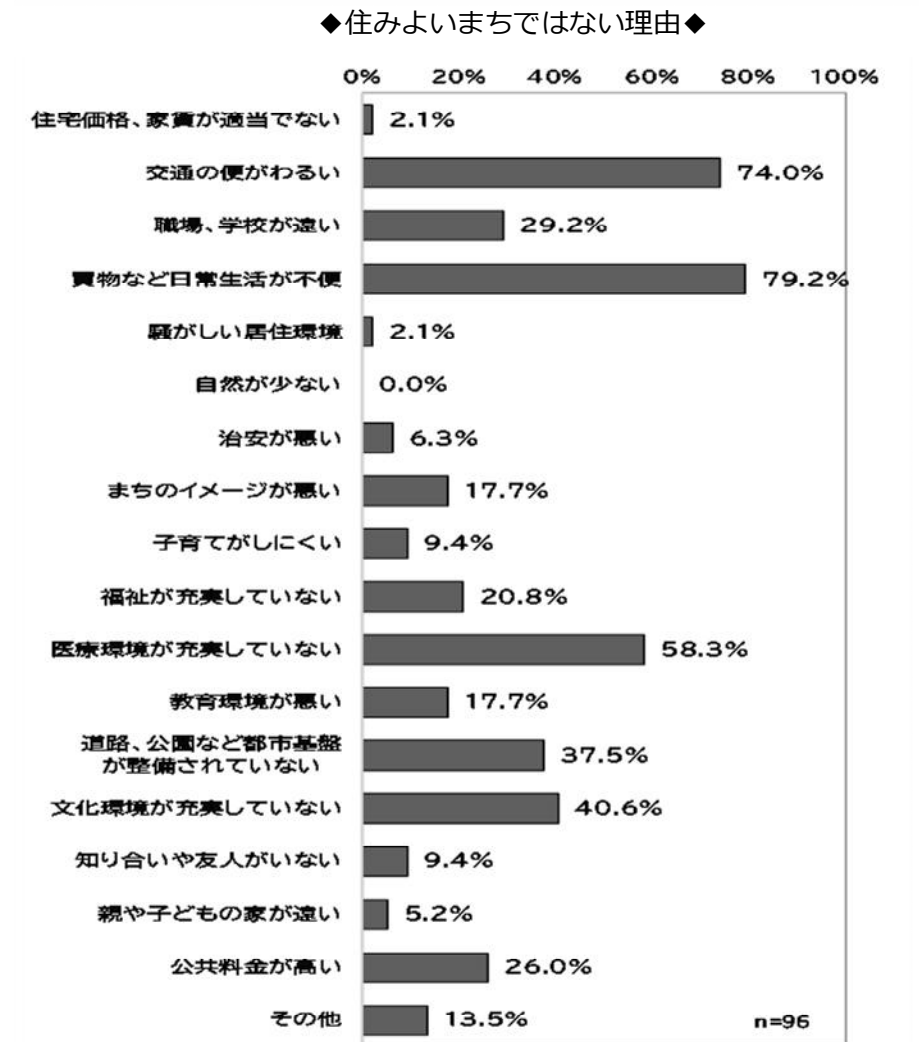
(3) 住みよいまちである理由

住みよいまちである理由は、「自然が豊か」が79.2%で最も多い。次いで「静かな居住環境」が64.8%、「治安が良い」が50.9%で続いている。



(4) 住みよいまちではない理由

住みよいまちではない理由は、「買物など日常生活が不便」が79.2%で最も多い。次いで「交通の便がわるい」が74.0%、「医療機関が充実していない」が58.3%で続いている。



Ⅲ 岬町が取り組んでいる施策についての満足度・重要度

(1) 満足度

「満足」と「やや満足」の合計の『満足度』は「消防・救急、危機管理体制の充実」が最も高く、39.3%となっている。次いで「健康づくりの推進と医療体制の充実」が34.5%で続いている。

(2) 重要度

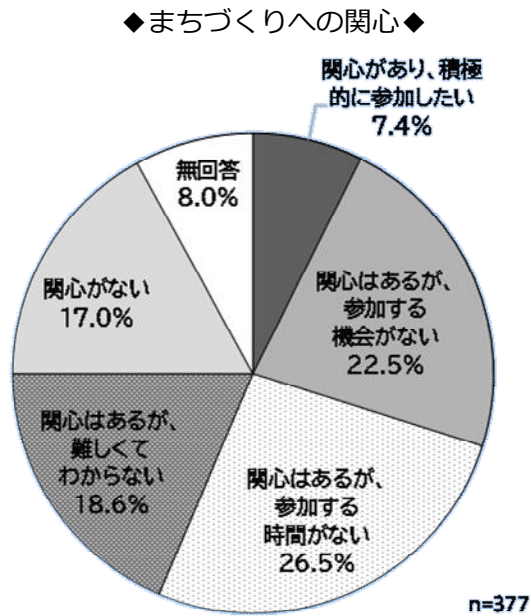
「重要」と「まあ重要」の合計の『重要度』は「消防・救急、危機管理体制の充実」が最も高く、81.2%となっている。次いで、「交通環境づくりの推進」が79.8%で続いている。

	満足度の高い項目		重要度の高い項目	
1	消防・救急、危機管理体制の充実	39.3%	消防・救急、危機管理体制の充実	81.2%
2	健康づくりの推進と医療体制の充実	34.5%	交通環境づくりの推進	79.8%
3	防犯対策・消費者保護・交通安全の推進	32.8%	防犯対策・消費者保護・交通安全の推進	79.3%
4	下水道整備の推進	32.1%	下水道整備の推進	79.1%
5	高齢者福祉の推進	31.6%	健康づくりの推進と医療体制の充実	77.7%
6	生涯学習・社会教育とスポーツ・レクリエーションの推進	30.5%	高齢者福祉の推進	75.1%

Ⅳ 住民参加のまちづくりについて

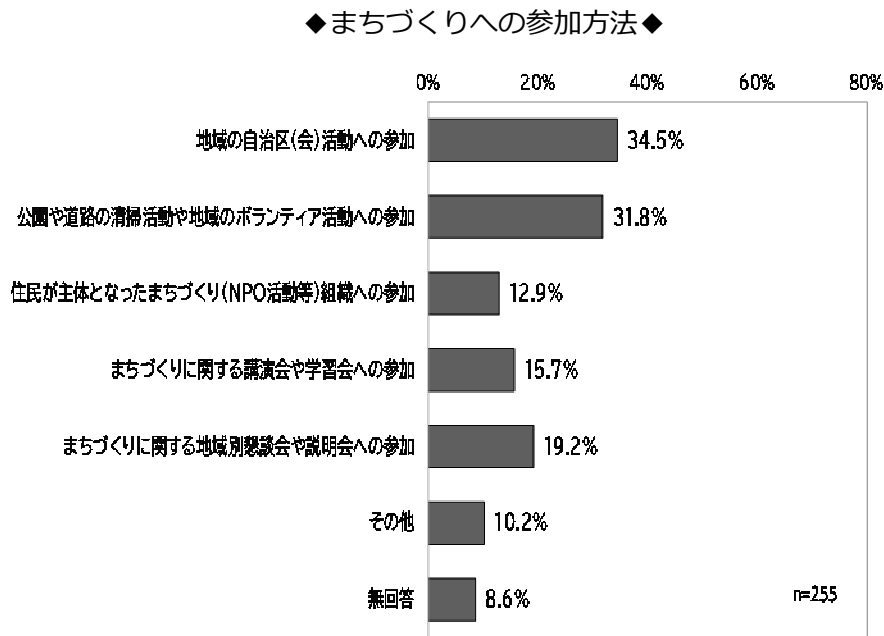
(1) まちづくりへの関心

「関心はあるが、参加する時間がない」が26.5%で最も多い。全体の7割以上がまちづくりに関心を持っている。



(2) まちづくりへの参加方法

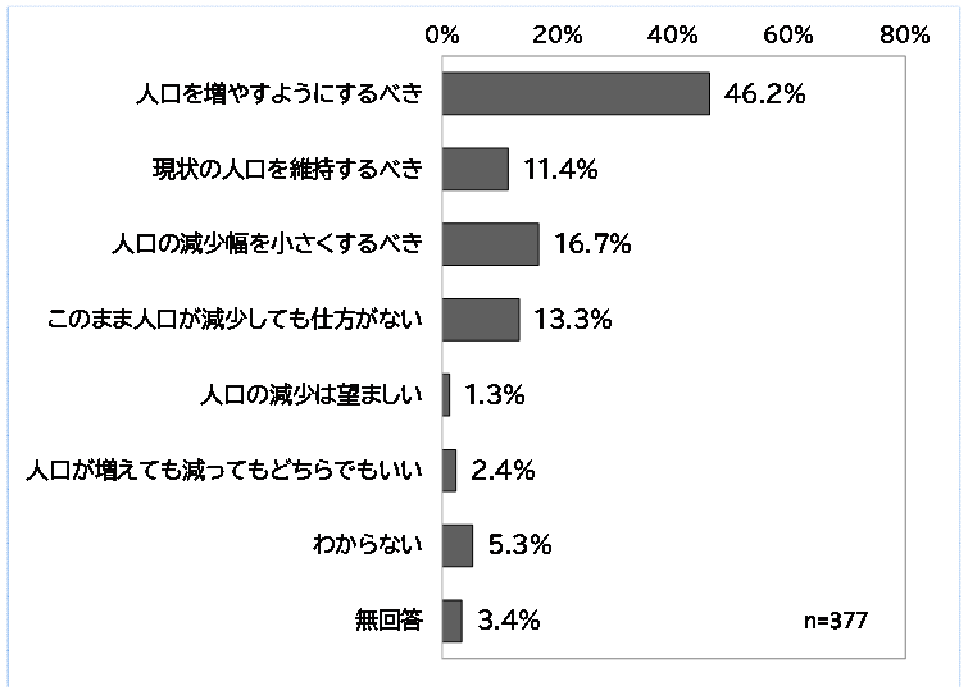
「地域の自治区(会)活動への参加」が34.5%で最も多い。次いで「公園や道路の清掃活動や地域のボランティア活動への参加」が31.8%で続いている。



Ⅴ まちの人口減少・少子高齢化について

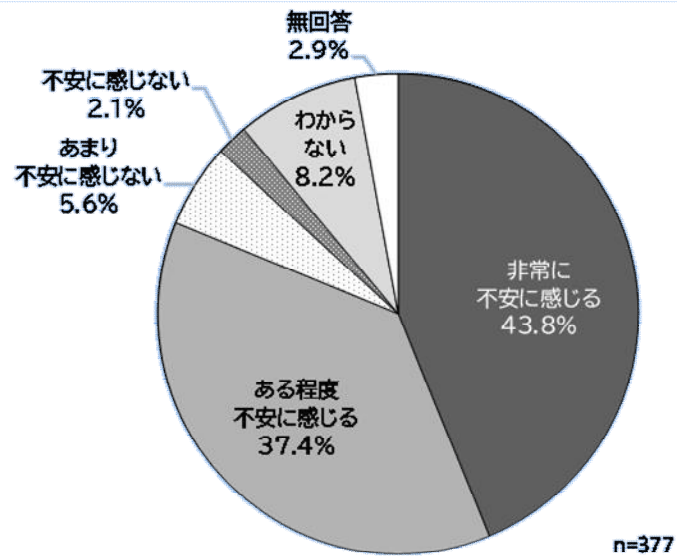
(1) 岬町の将来の人口について

「人口を増やすようにするべき」が46.2%で最も多い。次いで「人口の減少幅を小さくするべき」が16.7%、「このまま人口が減少しても仕方がない」が13.3%で続いている。



(2) 人口減少と少子高齢化が進むことについて

「非常に不安に感じる」が43.8%で最も多い。次いで「ある程度不安に感じる」が37.4%で続いている。



(3) 町の取り組みで最も重視することについて

「産業を振興し、安定した雇用を創出する取り組み」が35.3%で最も多い。次いで「安全で安心して地域で暮らせる地域づくりの取り組み」が18.0%で続いている。

